

みの～れは個性を受け入れてくれる度量がすごい！



演劇ファミリー Myu

さ さ き い ず み
佐々木 泉 さん

「わが家の天ぷら」では
和田利子役を演じる佐々木さん

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.164

月に入り、ウグイスが鳴き始めました。ウグイスは秋から冬はチャッチャツと鳴いて、春になるとホーホケキョと鳴くようになり、巢作りを始めるそうです。桜のつぼみも少しづつ膨らみ始めいよいよ桜の季節がやってきます。コロナ禍で大変な日が続きますが美しい桜の花に癒やされる日お待ち遠しいですね。今回は、みの～れ住民劇団演劇ファミリー Myu のメンバーで小美玉市羽鳥地区にお住まいの佐々木泉さん取材します。

佐々木さんは羽鳥地区で生まれ

育ち、大阪の大学に進学するた
めに一度小美玉市から出て、ま
た故郷に帰ってきました。「地元
に戻ってきて、空はこんなに大
きかったんだなあ・・・とか、緑
や自然の香りを感じることに幸
せを感じましたね。小さい頃お
世話になった方がすぐ近くに
たご縁とか、羽鳥駅前で生まれ
育ったので、駅前タクシーの運
転手さんに『いつの間にか、こ
んなに大きくなった子どもがい
るんだなあ』とか声をかけても
らったり、自治会でも友達のお
と一緒に出るようになってお世
話になったりと地元に戻ってき
て良かったことがたくさんあり
ますね。それと、公立の幼稚園
がこの3月で閉園になって、4
つの幼稚園が統合してよつば幼
稚園になるので、不安もあった
のですが説明会に行ったら同級生
がいたんですね。友達がいたこ

とで気取らず、気負わず行ける
のがすごくありがたいですね。
きつとこれは違うところに居住
していたら味わえなかった事と
感じています。夫に感謝ですね
と笑顔で話してくれました。

佐々木さんが Myu に入団し
たきっかけを聞いてみました。
「入団して数年なんです。最初
は子ども3人連れて参加してい
ました。本当は子どもの頃から
演劇をやってみたかったんだと
思います。恥ずかしい・・・自
信は無かったし。結婚した頃は
全く時間がなかったんですね。
子どもが生まれてから、子ども
がいるからうができないとか言
いたくなかったし、自分が失敗
したり、悩んだり、ジタバタし
ている姿を見せたかったんです
ね。だから子どもがいても『や
ろう』って思っちゃいました」
と楽しそうに話してくれました。

3月27日、28日公演の『わが
家の天ぷら』にむけて、「コロナ
で公演ができるか？できない
か？の状況の中で、少しでも可
能性があるのなら・・・とリモー
トなども使って歩みを止めずに
稽古をしたことに感動しました。
ありがたいなと思います。みん
な住民で、住民がこまごまやるっ
ていうのを観ていただきたいで
す。今回、出演する日は違うの
ですが娘が初めて舞台上立つの
でときどきしています。舞台は
パワーや声が振動してなんぼの
世界だと思えます。お客様がい
てくれるからこそ演者に伝わる
ものがあるのです。ぜひ、お客様
に観てほしいと思います」と話
す佐々木さんはとても輝いて見
えました。

幸せの衣に包まれた『わが家
の天ぷら』をぜひ、観に来てく
ださい。
(藤田佐知子)